

第 3 次長期総合計画前期基本計画策定に向けた調査結果

(1) 団体へのヒアリング

以下の町内の主要な役割を担う団体へヒアリングシートによる調査を行いました。

なお分野を整理していますが、ヒアリング回答自体は各団体が関わる項目に対して広く回答していただいているため、以下の表に属するモノとは限りません。

また一部の団体については、他のアンケート調査の結果も活用しています。

■ ヒアリング対象

施策分野	長期総合計画との関係性 (基本的な方向性)	団体名
施策分野Ⅰ	農業・畜産業の振興	JA ひろしま JA 広島市
	商工業の振興	北広島町商工会
施策分野Ⅱ	交流を生むまちの魅力づくりと観光振興	北広島町観光協会
	生涯を通じた学習・スポーツの振興	スポーツ協会 芸北 大朝 千代田 豊平
		総合型 スポーツ クラブ
施策分野Ⅲ	高齢者福祉の推進、障がい者福祉の推進、地域福祉の推進	北広島町社会福祉協議会
	健康づくり・元気づくりの推進	(一財)どんぐり財団
施策分野Ⅳ	自然環境の保全と良好な生活環境の維持	西中国山地自然史研究会(NPO 法人)
	災害や緊急時に強い地域社会の実現	北広島町消防団
施策分野Ⅴ	町民と行政の協働のまちづくり	INE OASA(NPO 法人) 雄鹿原あゆみ会

以下とりまとめについては、各団体が抱える活動分野ごとの課題について主なものを抜き出したものです。

■結果概要

項目	内容
農林水産業、 商工業	<ul style="list-style-type: none"> • 物価高騰(エネルギー・仕入れ)や最低賃金引上げによる地域経営の圧迫 • 耕作放棄地の増加と農業の担い手・後継者の深刻な不足 • 有害鳥獣(イノシシ・サル等)による農作物被害の拡大 • 町予算の町外業者への流出による地元事業者の衰退と労働機会の喪失
健康、医療、福 祉	<ul style="list-style-type: none"> • 地域活動の担い手不足とボランティア組織(老人クラブ等)の高齢化・解散 • 訪問介護事業の経営悪化に伴うサービス維持の危機 • 公共交通機関の不足による高齢者の外出・社会参加の困難 • 獣害被害をきっかけとした高齢者の離農と、それに伴う健康悪化(老け込み)
観光、文化、ス ポーツ	<ul style="list-style-type: none"> • 体育施設等の空調(冷暖房)未整備による夏冬の活動リスク(熱中症等) • 施設の老朽化(トイレの非洋式化、温泉施設の全廃等)と拠点機能の喪失 • 少子化による競技人口減少と、会費収入減による運営資金の不足 • 事務局の高齢化と後継者不在による、ボランティア精神に依存した運営の限界
自然環境・景観 維持	<ul style="list-style-type: none"> • 自然学術調査の継続性欠如によるデータの蓄積・活用不足 • 外来種の増加、獣害、ダニ被害などの自然環境リスクへの初動対応が遅れている状態 • 里山保全等の現場におけるコーディネート機能(相談窓口)の不足 • 活動が特定の個人の熱意に依存し、組織として継続しない(属人化)課題
子育て、教育	<ul style="list-style-type: none"> • 部活動の地域移行に伴う学校施設の利用規則や責任体制の必要性 • 地域の自然や文化に関心を持つ若手リーダーの育成と町内定着 • 学校と地域をつなぐコーディネーターの確保が個人の熱意に依存している点
防犯、防災	<ul style="list-style-type: none"> • 人口減少に伴う消防団員の急減(10年で150名減)と組織維持の困難 • 地域防災の取組が町全体に浸透しておらず、団員確保が難しい現状 • 消防団の活動内容や報酬の使途に関する住民からの誤解・信頼の低下
まちづくり、住 民協働	<ul style="list-style-type: none"> • 団体を横断的に支援・育成する「中間支援組織」の町内不在 • 一人の住民が複数の役職を兼ねる「多役兼務」による負担の集中 • 人口減少による行政区の組織劣化と、維持限界に伴う集落再編の必要性 • イベント主催団体の高齢化による規模縮小・廃止の増加

(2) 住民意識調査

■ 結果概要

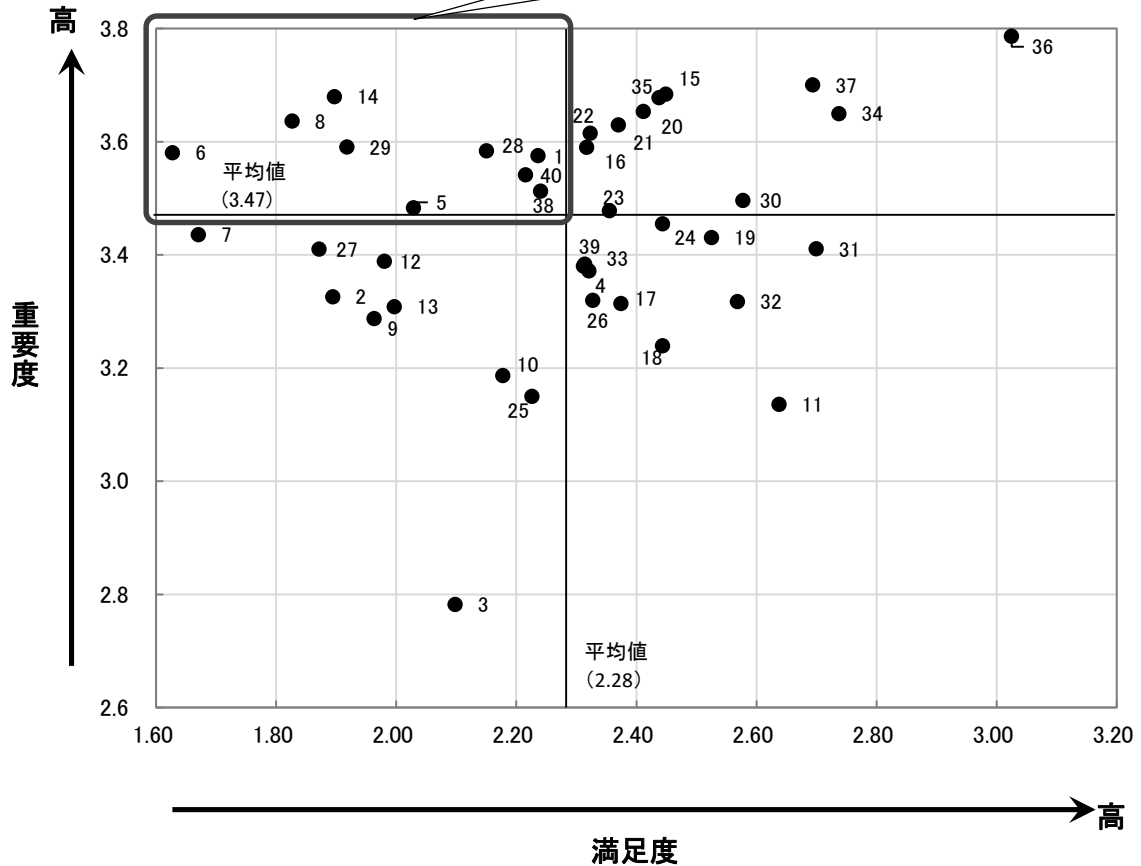
No	項目	内容
1	回収率	<ul style="list-style-type: none"> 町内在住の16歳以上の方を対象に2,000件配布(前回は1,000件) 回収率41.1%(前回回収率は47.4%、前々回回収率は47.0%) Web回答は88件(前回は14件)
2	回答者の年齢	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上で64%を占めている(前回よりもさらに増加)
3	住み良さ	<ul style="list-style-type: none"> 前回調査と比べて「住み良い」が減少(26.8%→19.0%)し、「住みにくい」が増加(3.8%→7.3%)している傾向がみられる 地域別にみると、大朝、千代田に比べて芸北、豊平は「住み良い」の割合が低くなっており、「住み良い」「どちらかといえば住み良い」の合計では、千代田が最も高く64.5%となっている
4	具体的な住み良いところ、住みにくいところ	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な住み良いところは「自然環境の豊かさ」や「治安の良さ」、住みにくいところは「交通の利便性」や「買い物の不便さ」などがあげられている(前回と同様の傾向) 前回に比べて良くなっているのは「医療機関や福祉施設」「歴史文化の継承」、悪くなっているのは「近所付き合いの負担」「住民意見の行政反映」 40歳未満では「まちの雰囲気やイメージが良い」の割合が比較的高くなっている(前回同様) 千代田に比べて他の3地域は「買い物の利便性」に不満が高く、特に芸北、豊平での「買い物が不便」の割合が高くなっている 「働く場」「住民意見の行政反映」については、芸北、大朝での不満が高くなっている
5	各地域のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 千代田地域のイメージとしては、「利便性が高い」ことが共通して挙げられるほか、自地域でのイメージに比べて他地域でのイメージが低い項目として「自然が豊か」「伝統・文化・芸術」が挙げられる 大朝地域のイメージとしては、「自然が豊か」であることが共通して挙げられるほか、自地域でのイメージに比べて他地域でのイメージが低い項目として「地域のつながり」「伝統・文化・芸術」が挙げられる 芸北地域のイメージとしては、「自然が豊か」であることが共通して挙げられるほか、自地域でのイメージに比べて他地域でのイメージが低い項目として「地域のつながり」が挙げられる 豊平地域のイメージとしては、「自然が豊か」であることが共通して挙げられるほか、自地域でのイメージに比べて他地域でのイメージが低い項目として「地域のつながり」「伝統・文化・芸術」が挙げられる 総じて、「利便性の高い」千代田に対して「自然の豊か」な大朝、芸北、豊平となっており、「地域のつながり」は地域内では強く感じるものの、他地域に対しては弱く感じている傾向がある
6	幸福度	<ul style="list-style-type: none"> 全体の幸福度は現状で平均6.35点、5年後には平均5.76点と将来に向けて減少傾向がみられる 年齢別にみると、40歳未満では5年後の幸福度で5点以上の得点が高くなる傾向があるが、40歳以上、特に65歳以上で5点以上の得点が低くなっている

No	項目	内容
7	まちづくりの 施策評価	<ul style="list-style-type: none"> 全体の中で重要度が高いにも関わらず、満足度が低い事業は「農業」「商業」「産業の担い手」「雇用」「子育て」「道路」「生活交通」「協働によるまちづくり」「効率的な行政運営」となっており、前回と比べて「情報通信」がなくなり、「商業」「道路」が含まれる結果となった 特に「産業の担い手」は最も満足度の低い項目となっている(前回と同様) 総合評価の平均点(無回答、わからないを除いて集計)は2.38で前回(2.39)と変化なし 地域別にみると、千代田において他の地域と比べて「満足」「どちらかという満足」を合わせた割合が高い
8	DX化	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービスや暮らしのデジタル化・DX化についての満足度(「満足」「どちらかという満足」)は23.8%で、「わからない」が41.3%と実感を得られていない状況 特にDX化の推進が望まれる分野としては「医療」が29.5%と最も高いが、次いで高い項目が「特にない、わからない」となっており、DX化の恩恵や利便性の向上などが理解されていない可能性がある 年代別にみると、特に65歳以上で「特にない、わからない」が高く、40歳未満では「医療」「行政窓口のオンライン化」「高齢者福祉」「公共交通」の順に割合が高くなっている
9	地域活動	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動への参加率は前回に比べてわずかに減少(H28:41.0%→R3:44.5%→R8:42.0%) 40歳未満では、「今後参加したい」が比較的高くなっている(前回同様) 地域別にみて、芸北では前回にくらべて「現在、参加している」が大きく減少している(55.9%→38.6%)
10	これからの まちづくりの あり方	<ul style="list-style-type: none"> 前回調査の結果に比べて「住民と行政が、協力して」という割合がやや増加(57.2%→59.9%)し、「行政中心で」という意見が減少傾向(17.5%→14.7%)にある 芸北、大朝地域では千代田、豊平地域に比べて「住民と行政が、協力して」の割合が高い
11	SDGs	<ul style="list-style-type: none"> 前回調査の結果に比べて「言葉も内容も知っている」が増加(13.5%→47.1%)し、「言葉も内容も知らなかった」が減少している(60.8%→22.9%)
12	めざしたい まちの姿	<ul style="list-style-type: none"> 「高齢者・障がい者・子どもが安心して暮らせるまち」が最も高く、次いで「災害に強く安全で安心して暮らせるまち」「農地・緑地などを保全する自然環境にやさしいまち」と続いており、前回とほとんど同様の状況 40歳未満では「商業・サービス施設が充実したまち」「高速道路へのアクセスがよい通勤・通学に便利なまち」が上位2件となっており、望まれる姿が異なっている

■満足度重要度の全体プロット

平均を基準として、重要度が高く、満足度の低い、実施優先度の高い施策

「1 農業」「5 商業」「6 産業の担い手」「8 雇用」
 「14 子育て」「28 道路」「29 生活交通」
 「38 協働によるまちづくり」「40 効率的な行政運営」



- | | | | |
|-----------|-------------|-------------------|---------------|
| 施策分野① | 11 歴史文化 | 22 障がい者福祉 | 33 地球温暖化防止 |
| 1 農業 | 12 移住・定住 | 23 地域福祉 | 34 上下水道 |
| 2 林業 | 13 住まい | 24 人権・差別解消 | 35 災害対策 |
| 3 水産業 | 14 子育て | 25 国際理解 | 36 消防・救急 |
| 4 工業 | 15 学校教育 | 26 男女共同参画 | 37 防犯・交通安全 |
| 5 商業 | 16 青少年 | 施策分野④ | 施策分野⑤ |
| 6 産業の担い手 | 17 生涯学習 | 27 土地の利用 | 38 協働によるまちづくり |
| 7 新規事業・起業 | 18 スポーツ | 28 道路 | 39 広域連携 |
| 8 雇用 | 施策分野③ | 29 生活交通 | 40 効率的な行政運営 |
| 施策分野② | 19 健康づくり | 30 情報通信 | |
| 9 観光 | 20 保健・医療・福祉 | 31 循環型社会 | |
| 10 交流 | 21 高齢者福祉 | 32 美しい環境と生物多様性の保全 | |

(3) 庁内ヒアリングを組み合わせた評価

上記調査に、庁内ヒアリングによる事業評価及び KPI の達成状況を組み合わせて施策の展開ごとの総合評価を行いました。

■結果概要

A 重大な見直しなく継続するもの B なにかしから見直しが必要なもの C 根本的な見直しが必要なもの

施策分野	基本的な方向性	施策の展開	施策の展開ごとの総合評価
I 活力ある産業の創造と成長	1 農業・畜産業の振興	①農用地の保全・集積	B
		②多様な担い手の育成・確保	C
		③環境に配慮した農業形態の実現	B
		④農畜産物のブランド化及び販売強化	B
		⑤農業を支える基盤づくり	B
	2 林業・水産業の振興	①森林環境の保全と活用	A
		②林業を支える基盤づくり	A
		③水産業を支える基盤づくりと河川環境の保全・活用	A
	3 商工業の振興	①商工業を支える基盤の強化	C
		②魅力ある商工業機能の形成と特色ある取組展開	B
		③経営力強化に向けた支援	B
		④企業立地の促進と立地環境の向上	A
	4 起業支援と担い手育成	①起業への支援と担い手づくり	C
②雇用機会の確保・拡充		B	
③就労に係る情報提供と相談体制の充実		B	
II にぎわいと活気に満ちたまちづくり	1 暮らしの基盤となる住環境の充実	①住まいづくりや相談支援・情報発信の充実	B
		②定住につながる質の高い住まいの整備	B
		③公園や広場等の身近な生活環境の整備・充実と適切な管理	B

A 重大な見直しなく継続するもの B なにかしから見直しが必要なもの C 根本的な見直しが必要なもの

施策分野	基本的な方向性	施策の展開	施策の展開ごとの総合評価
Ⅱ にぎわいと活気に満ちたまちづくり	2 子どもの健やかな成長を支える環境づくり	①子育て家庭に寄り添う多様な支援	C
		②保育サービス等の充実	B
		③子どもの遊び・学びを創る環境の整備・充実	B
		④結婚促進へ向けての支援	B
	3 すべての人への充実した教育・学びの提供	①郷土を愛し地域を担う人材の育成	B
		③「体・徳・知」のバランスのとれた力の育成	A
		④安全・安心な教育環境の充実	A
		⑤地域による教育力の向上と青少年健全育成環境づくり	A
		⑥生涯学習の推進と、学びをまちづくりに生かす活動の推進	A
	4 歴史・文化・伝統の継承と発信	①自然や歴史・文化遺産の保全と利活用	B
		②芸術文化活動の推進	B
		③文化財や文化施設等の相互連携と有効活用	B
	5 移住・定住を促すPRと受け入れ体制の強化	①総合的な移住・定住促進体制の強化	B
		②移住・定住先としての魅力づくりとPRの強化	A
		③UIターン支援体制の充実	A
	6 交流を生むまちの魅力づくりと観光振興	①「地元愛」による地域ぐるみの観光振興	C
		②「稼ぐ」観光関連産業づくり	A
		③観光地としての満足度の向上	B
		④国内外に向けた「きたひろしまの魅力」発信	B
		⑤一体的・持続的な観光推進	A
	7 スポーツを通じたまちづくりの推進	①生涯スポーツを通じたまちづくり	B
②競技スポーツを通じたまちづくり		A	

A 重大な見直しなく継続するもの B なにかしから見直しが必要なもの C 根本的な見直しが必要なもの

施策分野	基本的な方向性	施策の展開	施策の展開ごとの総合評価
Ⅲ 安心して 元気に 暮らせる 地域の創出	1 地域福祉の推進	①地域ぐるみで取り組む人にやさしいまちづくり	A
		②ひとり親家庭や生活困窮者等への支援	B
	2 健康づくり・元気づくりの推進	①健康寿命の延伸に向けた元気づくりの推進	A
		②地域医療体制の整備・充実	B
		③妊娠期からの切れ目ない支援の推進	B
	3 高齢者福祉の推進	①社会参加・生きがい活動の促進	B
		②介護予防の推進	B
		③在宅介護支援及び介護サービス提供体制の充実	B
		④認知症高齢者施策の充実	A
		⑤高齢者の権利擁護とサービスの質の確保	A
	4 障がい者福祉の推進	①自立した暮らしの支援	B
		②就労・地域活動の支援	A
	5 人権の尊重・共生社会の実現	①人権教育・啓発の推進と相談体制の充実	C
		②男女共同参画の推進	B
③誰もが安心して暮らせるまちづくり		B	
④多文化共生社会の構築・実現		C	
Ⅳ 生活基盤の 強化・強靱化	1 地域の拠点づくりとネットワークの形成	①地域特性を生かした計画的な土地利用の推進	A
		②多彩な拠点の形成とネットワーク化の推進	C
	2 交通環境の整備と移動に係る利便性の確保	①町内外をつなぐ広域道路網の整備促進	B
		②町内の道路ネットワークの充実	B
		③安全で快適な道路環境と維持管理の充実	B
		④生活交通の維持と確保	B

A 重大な見直しなく継続するもの B なにかしから見直しが必要なもの C 根本的な見直しが必要なもの

施策分野	基本的な方向性	施策の展開	施策の展開ごとの総合評価
IV 生活基盤の強化・強靱化	3 情報通信技術の基盤整備と利活用の推進	①地域情報通信基盤の整備と電子自治体の構築	B
		②多彩な拠点の形成とネットワーク化の推進	A
	4 生物多様性の保全と持続可能な循環型社会の形成	①持続可能な資源循環型社会の実現	B
		②環境保全の意識啓発と活動の支援	B
		③再生可能エネルギーの利活用等による環境保全対策の推進	A
		④生物多様性の保全	B
		⑤地域ぐるみで取り組む美しい環境と景観づくり	B
		⑥自然と歴史・文化と暮らしが息づく環境と景観の保全・創出	B
	5 水を大切に暮らすの維持	①上水道の整備	A
		②污水处理施設の整備及び円滑な下水等の処理	B
	6 災害や緊急時に強い地域社会の実現	①防災体制と災害時の対応強化	B
		②持続可能な消防力の確保	B
	7 安全な暮らしの確保	①協働による除雪対策の推進	A
		②防犯対策・消費者保護対策の充実	A
		③交通安全対策の充実	B
V 住民のための行財政運営	1 町民と行政による協働のまちづくり	①行政情報の共有と広聴機会の充実	C
		②住民と一体となったまちづくり	B
		③コミュニティ施設の整備・充実と有効活用	B
	2 健全な行財政改革	①広域的な連携の推進	A
		②効率的な行政運営の推進	A
		③健全な財政運営の推進	B
		④地方公営企業等の経営改善	B